

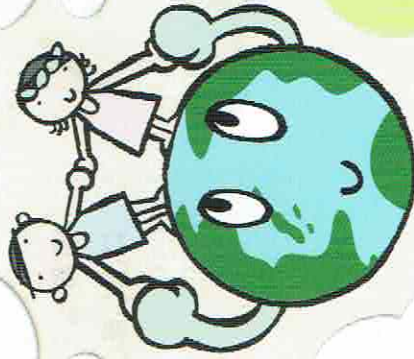
使った後の天ぷら油どうしていますか？* * *

家庭で天ぷらや揚げ物をした後に捨てられる油（廃食用油）は、年間約20万トンといわれており、ごく一部が地域住民などの協力で回収され、石けんなどに利用されていますが大部分が捨てられています。

廃食用油100リットルを集めて精製すると約90リットルのバイオディーゼルの燃料ができます。みんなで天ぷら油の回収運動に参加しましょう。

生ごみとして出され、焼却処分され、CO₂が発生し、大気汚染の原因や焼却炉を傷める原因になります。

洗い流すことが水質汚染の問題となり、下水パイプの詰まりの原因になります。



土にまいたり、埋めると土壌汚染の原因となり、農産物に悪影響を与えます。

資源として回収に出すと、バイオディーゼル燃料やせっけんなどにリサイクルされ、資源として循環します。

制作 / ならコープ広報CSR推進課

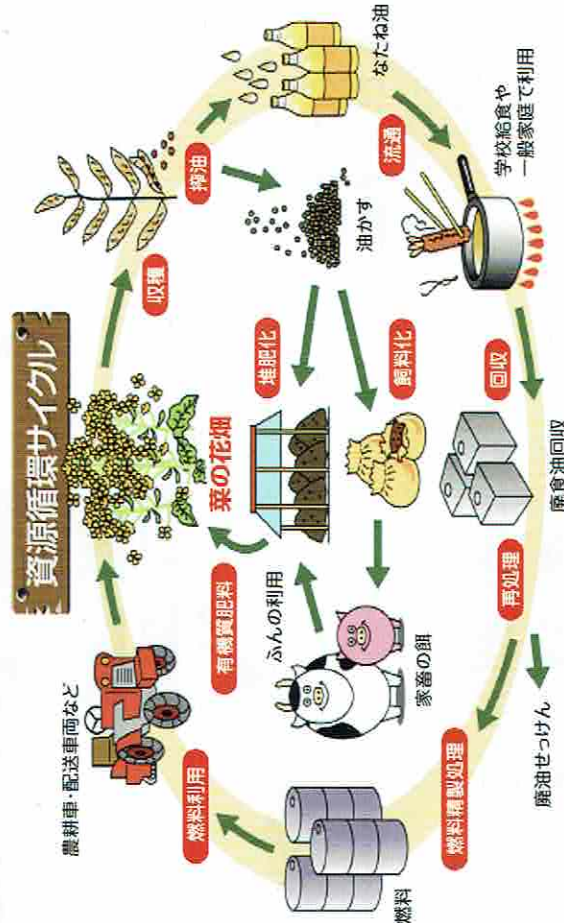
TEL0742-35-1183 ホームページhttp://www.naracoop.or.jp

2008年3月発行(2,000)

菜の花(資源)の循環をめざします

菜の花エコプロジェクトとは

地球温暖化の原因となっている温室効果ガスの発生を抑制するために、菜の花を栽培し、地域の中でエネルギー資源として循環させる取り組みです。菜の花の栽培が広がると転作田や休耕田の活用が進み、農村と都市の交流が生まれ、身近な自然環境を考えるきっかけになります。栽培した菜の花は菜種油として使われた後、その廃食用油を回収してバイオディーゼル燃料などに再利用されます。資源循環型の社会を進める菜の花エコプロジェクトに参加しましょう。



バイオディーゼル燃料は環境にやさしい燃料です**

バイオディーゼル燃料の特徴

再生可能な植物エネルギーなので、CO₂を増やすことにならず、地球温暖化防止に役立ちます。

酸性雨の原因となるSOx(硫黄酸化物)はほとんど発生しません。

多くの疾病原因とされている黒煙は、軽油と比較して約1/3です。

使用済み天ぷら油回収のルール

植物性の油のみを回収します。(常温で固まるパーム油・動物性油は回収できません)

使用済み天ぷら油を再利用しましょう!

回収した使用済み天ぷら油(廃食油)はバイオディーゼル燃料に精製し、配送車両などに利用します。



使用済みの油は油として、天ぷら油の容器などに入れて回収に出しましょう。

回収場所ではジョウゴ、ざるなどで不純物を取り除き回収容器(ポリ容器)に移します。

持ってきた容器は、次回回収の容器として再利用しましょう。

ディーゼルエンジンの車両であれば、特別な改造をしなくても利用できます。